



国立成育医療研究センター(女性リーダー育成型) 成育女性リーダー育増(いくぞう)プロジェクト

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ

実施期間: R6年度～R11年度

実施体制

本プログラムの実施にあたっては、理事長の直接の指揮のもと、ダイバーシティ実現推進室が統括する。企画戦略局長が責任者となり、プログラム統括、計画立案、予算配分、進捗管理、人事管理を行う。ダイバーシティ実現推進室の中には、研究所部門(責任者: 研究副所長)、病院部門(責任者: 研究担当特命副院長)、女性の健康総合センター部門(責任者: 女性の健康総合センター長)、事務部門(責任者: 労務管理室長)を設置する。また、研究所内にダイバーシティ研究室(責任者: 研究所長)を設置し、性とジェンダーに関する生物学的・医学的研究を推進する。これにより、ダイバーシティ推進に科学的根拠を与える。また、本プログラムの活動は、センター内の既存組織である教育研修センター、研究医療課、研究開発管理部、広報企画部、コンプライアンス室等と連携して行う。

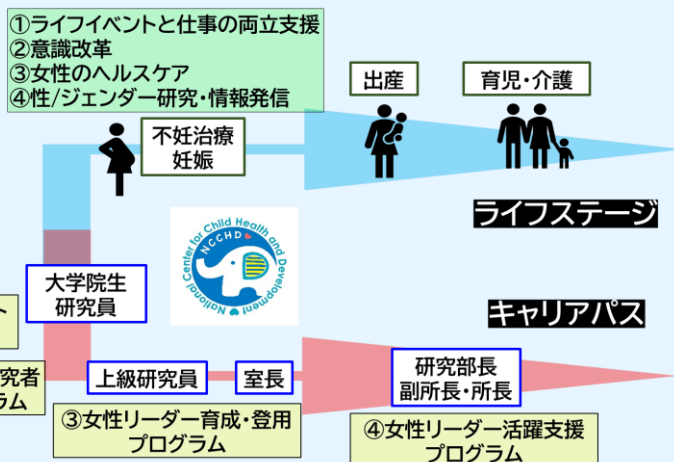
特長

1. 体系的な支援体制による女性上位職登用

2. 「女性の健康総合センター」との連携

単なる数値目標の達成にとどまらず、ライフイベントとキャリアの両立支援、ジェンダーバイアスの解消、リーダー育成のための実践的な施策を組み合わせ、持続可能な仕組みを構築する

I. 環境基盤整備

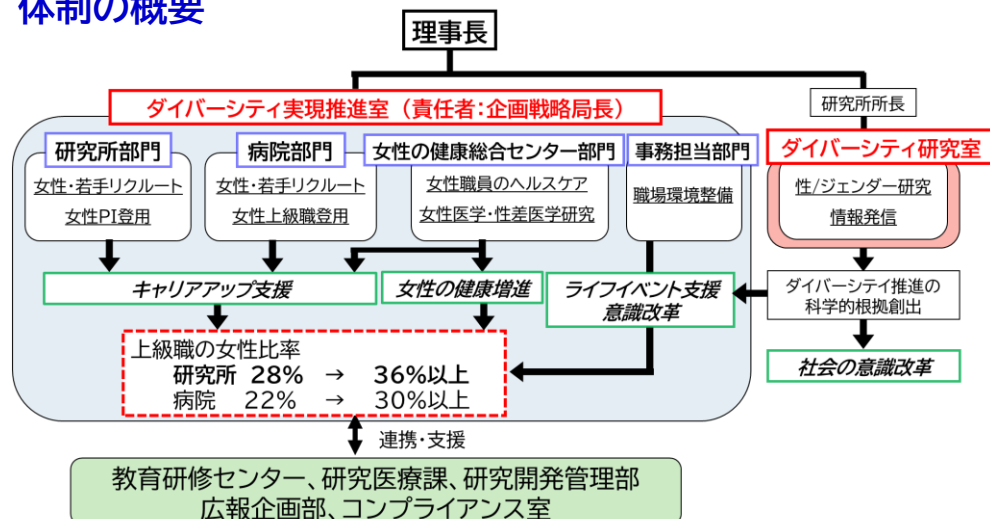


II. キャリアアップ支援

取組概要(R11年度までの達成目標)

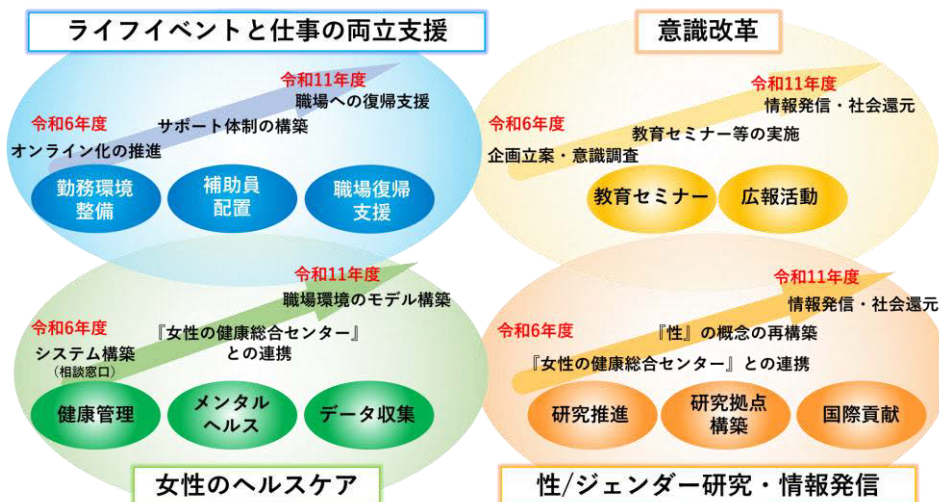
- 研究所上位職の女性の割合: 28% → 36%以上
- 研究部統括責任者の女性数: 2名 → 3名以上(15名中)
- 病院上位職の女性の割合: 22% → 30%以上
- 若手上級研究者の新規登用数: 40歳未満の若手2名以上

体制の概要



支援内容

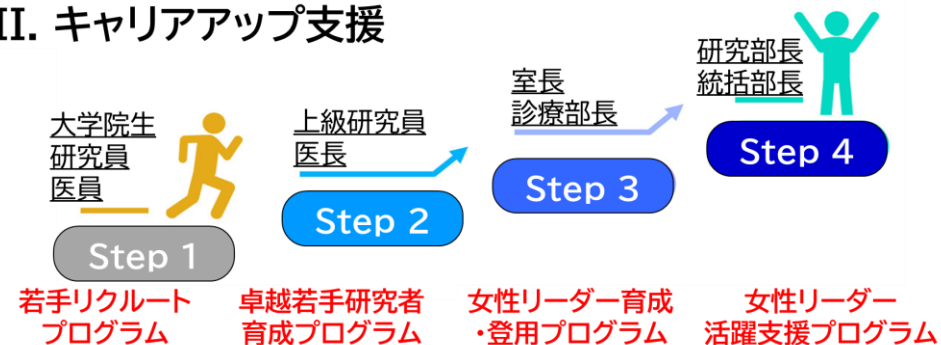
I. 環境基盤整備



自身の価値観と生活環境を生かし最大限の能力を発揮できる職場環境を実現

- ・研究機会の確保: 在宅勤務システム、実験データの電子化、研究・事務補助員配置
ベビーシッター・学童費用補助、職員宿舎の優先利用枠確保
- ・意識改革: アンコンシャス・ジェンダーバイアスの理解促進
職員アンケート調査でジェンダー意識や職場の問題点把握
- ・ジェンダー医学と情報発信: 性とジェンダーの生物学的研究や女性の社会的・身体的・精神的課題の調査を推進
- ・職場環境の整備: 搾乳室・休憩室整備

II. キャリアアップ支援



各キャリアステージごとに体系的な支援を提供し、持続的な女性リーダー育成と上級職登用を推進

- ・研究費助成: 公募・審査による研究費補助
- ・補助員配置支援: 研究補助員・事務補助員配置
- ・スキルアップ: 論文執筆指導、研究費獲得戦略、投稿雑誌選択助言
論文受理率向上戦略、大型研究費獲得法、プレゼン技術向上
- ・ネットワーク形成: 研究部を超えた若手女性研究者の交流支援
- ・キャリア戦略支援: 「PIを目指す若手のためのCafe企画」で相談機会提供
- ・国際活動支援: 国際学会での招待講演、共同研究打ち合わせ費用の支援

「卓越研究員制度」

優秀な女性研究者の上位職登用(ステップ2→3)を推進
メンター支援、プロジェクト機会提供、研究費補助を行う
なお、選考、採用にあたっては、女性を20%以上含む選考委員会を設置し
公正な評価を実施する

活動紹介

R3	センター職員向けの搾乳・授乳室設置 内閣府「ベビーシッター利用者支援事業」による割引券取扱開始
R4	ダイバーシティ実現推進室・ダイバーシティ研究室 設置 第1回ダイバーシティに関する意識調査 実施
R5	一般事業主行動計画の改正 厚生労働省「両立支援のひろば」「女性の活躍推進企業データベース」データ登録と公表開始
R6	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ補助金(女性リーダー育成型)採択 第2回ダイバーシティに関する意識調査 実施

お問合せ

機関名 : 国立研究開発法人国立成育医療研究センター
 所在地 : 東京都世田谷区大蔵2-10-1
 連絡先 : ダイバーシティ研究室事務局
 電話 : 03-3416-0181(代表)
 Email : div_kenkyu@ncchd.go.jp
 HP : (作成中)

